

『古事記』天孫降臨条の構成について

直木孝次郎

美術史における古典様式の問題

——ヴェルフリンの

中村 二柄

形式概念について——

林屋辰三郎

部民制の成立

樋口 隆康

古鏡に映じた古代日本

肥後 和男

八百万の神々

——特に那司級の豪族性をめぐって——

福尾猛市郎

古代史上の吉備の児島

藤井 駿

硬玉の勾玉

藤田 亮策

平安中期の国内海運

古田 良一

奈良時代仏教の密教的性格

堀池 春峯

『魏志』倭人伝行程記事の解説

牧 健二

最澄の天台立教とその周辺

真坂 忠之

宣命の起源

松本 雅明

平安初期の商業と商人

松山 宏

加羅諸国小考

三品 彰英

——神功紀の加羅七国

——平定記事について——

打出の小槌考

宮崎 市定

大江匡房について

村山 修一

法金剛院の造営と阿弥陀像

毛利 久

日本における古代火葬墓の分類

——歴史考古学

的研究序論——

安井 良三

『古事記』序文考

藪田嘉一郎

大嘗祭の成立年代

横田 健一

西田直二郎先生略年譜

西田直二郎先生著作目録

(A5判八二六頁・昭和三十五年十二月)

吉川弘文館発行 定価一、五〇〇円)

### 学界消息

史学研究会関係

五月例会

五月六日(土)午後

見学会

青葉の神護寺・高山寺を探る

——神護寺虫弘展特別見学——

六月例会

六月三日(土)午後一時より

於 陳列館第二教室

大岡検地論の批判に答える

宮川 満氏

### 国史関係

読史会春季旅行・新入生歓迎会

五月一三日(土)午前八時半よりバスにて、

天智天皇陵—毘沙門堂—坂上田村麻呂墓—

名神高速道路—醍醐三宝院—法界寺—随心

院をめぐり、ここで新入生歓迎会をもち、

午後三時頃から安楽寿院址を経て東寺にも

どり、夕刻解散した。本年度新専攻生は、

学部一〇名、大学院修士課程三名である。

読史会春季大会 六月一日(日)

午前九時半より、於京都大学楽友会館

報告者

土佐藩の政治思想

佐藤 利夫

計帳に関する二・三の問題

原 秀三郎

公営田と調庸制

村井 康彦

播磨国矢野庄の条里

上 島 有

について

日本啓蒙思想の特質

広田 昌希

幕末期における統一国家論

池田 敬正

保証刀禰について

秋宗 康子

紀氏小考

岸俊 男

特別講演

古鏡よりみた日本の上古

梅原 末治

東洋史関係

旧制大学院会例会

陳列館会議室

六月一〇日(土)午後二時

唐憲宗朝の経済政策

善峰 憲雄

新制大学院会例会

六月二十三日(金)午後五時

楽友会館

西突厥のトルキスタン

支配について

問野 英二

七月七日(金) 午後一時三〇分

陳列館演習室

六朝時代の修史館

稲葉 一郎

東洋史談話会

昭和三十六年度の新三回生歓迎会を五月九日

(木)洛北大原三千院に於いて開催。なお

新三回生は一三名、修士課程入学生三名、

博士課程進学者五名である。

地理学関係

人文地理学会第41回例会

五月六日(土)午後二時

於滋賀県立膳所高校

集落移転の一事例—滋賀県坂田郡米原町樽

畑

宮畑巳年生

トンガ人の村落生活

蕨内 芳彦

人文地理学会第42回例会(兵庫地理学協会と

共催)

七月八日(土)午後二時 於関西学院大

学

地方都市の金物工業—三木市と三条市の比

較

最近の世界旅行からの私の知見

星野 輝男

田中 薫

考古学関係

吹田市釈迦池遺跡の発掘

六月一五日—七月九日 名神間高速道路の

建設にもなつて、吹田市釈迦池付近の窯

跡が破壊されることになつたので、大阪府

教育委員会の依頼をうけて、京都大学考古

学研究室の横山助手が調査した。調査した

窯跡は約一〇基、そのうち釈迦池の二基に

ついて精密な発掘調査をおこなつた。

正誤表

四四卷三号所載森鹿三「居延漢簡とくにウラ

ン・ドルベルジン出土簡について」に、左記

の誤植がありましたので、訂正いたします。

頁 段 行 正 誤

85 下 11 六〇年には圖版、 五七年には圖版

82 下 5 二五三の上に、二 五六を補う。

12 五三六の下に、五 六五を補う。

87 上 1 (三三三・一)

89 上 3 (一一六・一九)

11 1 (一一六・四二)

16 3 (一一三・三七)

93 下 11 (一一五・四)

94 上 6 私が八年前に (五〇五・二)

95 上 1 私か九年前に (五〇四・二)

13 7 一六を削除 (二二八・二二八)

補註⑥末尾より六行目、「大海出...:五一八

や」を削除